

バレーボール選手の心理的適正に関する研究

——性格特性，競技意欲，競争不安に着目して——

西 村 栄 蔵

I 目 的

従来スポーツ適性を扱った研究においては、心理的側面に関しては遅れている感が強い。

そこで、本研究では、心理的適性として、性格特性、競技意欲、競争不安に着目し、広島県高等学校バレーボール選手を対象に、性差、チーム内の立場の違いから、これらを検討し、一流プレイヤーのバレーボール選手と比較し心理的適性を試みることを目的とする。

II 方 法

1. 調査対象

広島県のトップ、レベルの競技能力を持つ高等学校所属チーム、男子3チーム、女子4チーム、計7チームに所属する男子48名、女子72名、計120名を本研究の対象とした。

2. 調査期間および方法

昭和60年6月～11月に郵送方法により回答を求めた。

III 結 果 と 考 察

1. MPI に関して (Maudsley personality inventory)

表1にN、E両尺度における男女の結果を示した。

高校生の場合のE尺度においては男女ともほとんど差がみられず、外向

性を示していることで共通しているが、日本リーグチーム、実業団チームの差は、Mが4.84で、Fは5.24の差で日本リーグチームと実業団チームがかなり高い得点であった。

表1 MPI の各下位尺度における男女のN, M, S D

	N(件数)	N 項 目		E 項 目	
		M(平均)	S D(標準偏差)	M(平均)	S D(標準偏差)
M(男)	48	18.85	5.68	27.50	4.33
F(女)	72	20.93	6.66	27.56	4.14

N尺度においては高校生も女子が男子よりも有意に少しではあるが値を示し、女子の方が神経質で情緒予安定であることが明らかになった。

日本リーグチームと実業団チームを比較しても、Mは0.76、Fは5.43と男子ではあまり差はないが女子の場合には日本リーグチーム、実業団チームが高校生と比較してもかなり高い値を示し、神経をかなりつかっていることが明らかである。

2. TSMI に関して (Taikyo sports Motivation Inventory)

表2は高校生の TSMI における結果である。

男子では日本リーグチームと実業団チームより高校生が高い値を示したのは、2技術向上意欲、5失敗不安、6緊張不安、9コーチ受容、12知的興味、13不節制、14練習意欲、15競技価値観、17努力への因果帰属であり、女子では、5失敗不安、6緊張不安、9コーチ受容、10対コーチ不適用、13不節制、15競技価値観であった。

この表を見るかぎり高校生男女とも同じような傾向がみられた。

日本リーグチーム、実業団チームがキャリアが長く試合場面でも自己を統制する能力にすぐれ、練習なども計画的に行っていることがわかるが、高校生は経験不足のためか試合等の緊張場面においても不安が高まる傾向が強いことがうかがえる。

表2 TSMI の各下位尺度における男女のN, M, S D

		N(件数)	M(平均)	S D(標準偏差)
1 目標への挑戦	M(男)	48	22.63	3.64
	F(女)	72	20.49	3.38
2 技術向上意欲	M(男)	48	24.71	3.54
	F(女)	72	22.51	3.77
3 困難の克服	M(男)	48	23.58	3.47
	F(女)	72	21.54	4.34
4 勝利志向性	M(男)	48	22.50	3.25
	F(女)	72	20.69	3.97
5 失敗不安	M(男)	48	19.73	4.56
	F(女)	72	21.53	4.93
6 緊張性不安	M(男)	48	20.13	4.18
	F(女)	72	20.96	4.25
7 冷静な判断	M(男)	48	18.81	3.60
	F(女)	72	17.13	3.62
8 精神的強靱さ	M(男)	48	20.06	3.64
	F(女)	72	18.57	3.83
9 コーチ受容	M(男)	48	24.83	4.08
	F(女)	72	21.81	3.48
10 対コーチ不適用	M(男)	48	16.29	4.75
	F(女)	72	19.47	4.16
11 闘志	M(男)	48	25.71	3.95
	F(女)	72	24.82	4.26
12 知的興味	M(男)	48	25.44	4.11
	F(女)	72	21.15	4.28
13 不節制	M(男)	48	17.69	3.03
	F(女)	72	19.44	2.99
14 練習意欲	M(男)	48	19.21	2.96
	F(女)	72	17.13	2.95
15 競技価値観	M(男)	48	22.71	3.61
	F(女)	72	21.18	3.38
16 計画性	M(男)	48	19.46	3.73
	F(女)	72	17.01	2.91
17 努力への因果帰属	M(男)	48	25.29	3.41
	F(女)	72	24.49	3.70

やはり高校生は心理的な面が大である。また、競技達成動機、自己統制能力等では男子の方が得点が高いし、競技不安等では女子の方が得点が高いという結果がでている。

高校生と日本リーグチームと実業団チームを比較したら、高校生の方がかなり高いし、TSMI の緊張性不安などをみてもわかるように男子では平均差が5.37、女子では、3.86と大きな差が出ている。

これは性差、キャリア等が関与しているものと思われる。

3. SCAT に関して (sports Competition Anxiety Test)

表3は高校生のスポーツ競技不安テスト結果である。

男子は、日本リーグチーム、実業団チームにくらべても差はみられないが、女子の場合は高校生の選手の方が競技不安が高いようである。

表3 SCAT における男女のN, M, S D

	N 項 目		
	N(件数)	M(平均)	S D(標準偏差)
M(男)	45	18.91	2.70
F(女)	70	19.69	2.98

*件数はSCATにおいて男3名、女2名が無解答